

行政報告の主な内容（5課15項目）

(1) 総務課	局地的豪雨災害について
	参議院議員通常選挙について
	自衛隊関係について
(2) 保健福祉課	新型インフルエンザの今後の対応について
(3) 町民生活課	町税等の収納対策について
	カムローズ市友好都市提携25周年記念事業等について
	協働のまちづくり推進委員会について
	新エネルギービジョンの策定について
(4) 産業振興課	農作物の育成状況について
	第32回 2010花と炎の四季彩まつりについて
	上富良野町のPR事業について
	かみふらのビアガーデンについて
(5) 教育振興課	国内交流事業について
	(国際交流事業について)
	全道・全国大会出場について
(6) 総務課	建設工事の発注状況について

行政報告

(平成22年9月定例町議会)

議員各位におかれましては、公私共に何かとご多用のところ、第3回定例町議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

この機会に、去る6月定例町議会以降における町政執行の概要について報告させていただきます。

(総務課行政報告【防災担当】)

はじめに、7月8日から9日、8月7日から9日及び23日から24日に発生した大雨により、当町において多くの土木被害、農業被害が発生しました。

現在、この復旧に町としても全力をあげて作業を行っている状況であり、予算につきまして、それぞれ専決処分をもってさせていただいたところから、今議会においてその承認をお願いしているところであります。

一連の大雨による、公共土木被害につきましては、271箇所、被害額は約1億1千540万円、公共施設の被害は、4箇所被害額約70万円となったところであり、農業の被害については、農地及び農業施設の総額については現在設計中であり、確定次第報告していきたいと思っております。

7月の大雨では、時間総雨量が1996年の観測以来の記録を更新する36.5ミリを記録し、一時的に市街地区にも道路などに雨水があふれ出す状況にみまわれました。

更に、8月の大雨では、町内各所において、土砂流出や路面掘削・法面崩壊等が発生するとともに、河川の増水、農地への冠水や土砂流出による作物被害が発生し、2

4日未明には、JR富良野線里仁地区で線路下の土砂が崩落のため、JR美瑛・上富良野間が終日運休しバスによる運行代替が行われましたが、通勤通学者の足に乱れも発生しました。

被害に遭われた方に、心からお見舞いを申し上げますとともに、これからは台風の季節を迎え、警戒準備を整え対応を図ってまいりたいと思います。

（総務課行政報告【総務班関係】）

次に、第22回参議院議員通常選挙についてであります。6月24日に公示、7月11日に投開票が実施されたところであります。

当町選挙管理委員会においては、投開票事務の適正な執行に努められ、当日有権者数9,760人、投票者数6,529人、投票率66.90%で、全国平均を9ポイント、全道平均を5ポイント程度上回ったところであります。

また、期日前投票の投票者数は、2,633人で投票者数の4割強を占め、期日前投票制度が着実に浸透してきたものと感じられるものであります。

（総務課行政報告【基地調整関係】）

次に、自衛隊関係であります。6月21、22日に北海道基地協議会により「防衛施設周辺整備事業」の要望運動を北海道、北海道防衛局、総務省、財務省、防衛省、関係国会議員に対して行うとともに、8月19日、30日には富良野地方自衛隊協力会の6市町村長及び議会議長により「上富良野駐屯地現状規模維持堅持要望」を上富良野駐屯地、第2師団、北海道防衛局、北部方面総監部、防衛省、陸上幕僚監部、関係国会議員に行ってまいりました。

また、7月22日に全国基地協議会・防衛施設周辺整備全国協議会合同の定期総会に出席し、7月30日には「自衛隊の体制維持と自衛隊を知る道民セミナー」が札幌市で開催され、全道から750名の参加があり本町からも関係者30名の参加をいただきました。

記念式典関係では、6月26日に北千歳駐屯地創立58周年記念行事、6月27日に北海道補給処及び島松駐屯地創立58周年記念行事、7月11日に旭川地方協力本部創立4周年記念行事、8月8日に航空自衛隊千歳基地開庁53周年記念行事に出席するとともに、8月28日、29日に富士総合火力演習、また昨日は北海道大演習場における総合戦闘力演習を見学してまいりました。

（保健福祉課行政報告）

次に、昨年秋から冬にかけて流行した新型インフルエンザ対策についてであります。感染力は強いものの、季節性インフルエンザと同程度の病原性であることから、本年10月1日以降は、季節性インフルエンザと新型インフルエンザの両方に対応できる新たなワクチン接種となる予定であります。現在ワクチン接種の実施に向け医療機関等と調整を進めており、今後詳細について住民周知を図ってまいります。

（町民生活課行政報告【税務班関係】）

次に、本年度上半期の町税等の収納状況についてであります。4月から8月にかけて所得税還付金9件、普通預金等15件、合計24件の差押えを執行し、211万1千円の換価収納をいたしました。

また、管理職全員による滞納プロジェクトを1回実施し、延べ97名の臨戸訪問徴収により200万1千円を徴収するとともに、同時期に夜間納税相談窓口を開設し、

4件の相談を実施いたしました。

さらに、国民健康保険税の滞納者48世帯80名に対しては、国民健康保険証の短期証の交付を行い、納税勧奨をしたところであります。

（町民生活課行政報告【自治推進班関係】）

次に、カムローズ市友好都市提携25周年記念事業及び第6回青少年国際交流事業についてであります。1985年(昭和60年)のカムローズ市との友好都市提携締結から25周年の記念の年を迎えたことから、両事業をあわせて実施してきたところであります。

親善訪問団は、私が団長となり西村議長と文化団体の方々総勢14名、青少年交流団は、教育長が団長となり中高生11名と引率者の総勢15名で8月2日からカムローズ市を訪問して、友好都市提携延長に関する盟約書に調印するとともに、今後の更なる交流の促進を誓い、マステルカムローズ市長と改めて今後の友好関係の促進を確認してきたところであります。また、今回新たに上富良野中学校とカムローズ市のチャーリー・キラム中学校とが姉妹校として提携する運びとなり、子供達の国際交流が一層活発に行われ友好の絆が更に深まるものと期待するものであります。

カムローズ市での滞在期間中は、青少年交流団の中高生も親善大使としてその役割を立派に果たし、お互いの文化公演などを通じてカムローズ市長はじめ多くの市民の方々と交流を深めることができました。

さらに、中高校生はホームステイ体験等を通じて貴重な経験を得たものと思われ、大いに役立つ国際派遣事業になったと感じております。

次に、協働のまちづくり推進委員会についてであります。団体推薦者9名と一般公募者4名をもって6月29日に設置し、「協働のまちづくり基本指針」とその概要版

の作成に向けて、協議を重ねていただいております。

今後は、基本指針（案）をまとめた段階で、パブリックコメントを実施し、町民の意見を反映し、策定する予定となっています。

（町民生活課行政報告【生活環境班関係】）

次に、上富良野町地域新エネルギービジョンの策定についてであります。独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構からの補助金交付を受け、一般公募を含めた15名の策定委員を決定・委嘱し、7月28日に第1回策定委員会を開催したところであり、来年2月末までの完成を目指し、作業を進めて参ります。

（産業振興課行政報告【農業振興班関係】）

次に、農業関係についてであります。これまでに経験がないほどの高温多湿の気象に見舞われるとともに、7月からの度重なる集中豪雨により、ほ場が冠水するなどの被害が発生し、当町の主要作物である馬鈴しょやビート、豆類をはじめ、ほとんどの農作物で収量減が見込まれることから、出来秋が非常に厳しい状況にあると認識をしております。

既に収穫を終えた麦類についても、秋まき小麦で平年の8割程度、大麦では7割程度、春まき小麦にいたっては、平年の3割程度となっております。

水稻についても、高温多湿の影響から一部の地域を中心にイモチ病が発生し、また8月24日の豪雨によって倒伏が広がったことから、収量の減少及び品質の低下が懸念されているところであります。

また、このような農作物被害に加え、記録的な集中豪雨によって、土砂の流入や表

土の流出、層圧ほ場での法面崩壊や排水施設の損壊など、農地や農業施設にも多大な被害がもたらされました。

今後におきましては、各関係機関と連携・調整し、必要な対応を図ってまいりたいと考えておりますが、特に、経営的に大きな影響を受けた被災農業者の皆様に対しましては、今後の営農に大きな支障が生じないように、具体的な支援策の検討を進めてまいります。

（産業振興課行政報告【商工観光班関係】）

次に、商工及び観光関係についてであります。7月25日に「第32回 2010花と炎の四季彩まつり」を開催いたしました。当日は天気にも恵まれ、町内外から約2万人の来場者をお迎えし、ステージショー・行灯行列・花火等の行事が予定通り行われ、無事に終了することが出来ました。

四季彩まつりの開催に向けて、早くから行灯の製作をはじめ、イベントの準備・運営にご尽力いただきました関係者の皆様に厚くお礼を申し上げます。

次に、「ふるさと北海道応援企画」における、本町のPR活動についてであります。例年、札幌大通公園8丁目に開設されるサッポロビール(株)のビアガーデン会場において、8月6日、上富良野の地域資源や特産物などの紹介をはじめ、パンフレットの配布など、上富良野への関心を高めていただくとともに、観光等での来訪につなげるため、関係機関の皆様の協力・参加を得て、PR活動を行ってきたところであります。

次に8月22日に開催された「町民ビアガーデン2010」についてであります。「地産地消推進協議会」が主体となり開催してきておりますが、今年度はより多くの団体・町民の方々に参画をいただくことや、プレミアムビールのさらなる地域活用を視野に、「かみふらのプレミアムビール【四季彩】実行委員会」を立ち上げ開催され、

多くの町民の皆様楽しんでいただくことが出来ました。

同日以降も、応募のありました町内21の飲食店において、かみふらのプレミアムビールの消費拡大の取り組みがなされ、更なる地域経済への振興につながるよう、大きな期待をするところであります。

(教育振興課行政報告)

次に国内交流事業についてであります。西小学校と姉妹校を結んでいる津市の安東小学校から10名の児童と引率教員3名が、7月21日から3日間の日程で来町され、西小学校の児童との交流会、児童宅でのホームステイ及び町内の視察研修などを通じて、両校の友好の絆がさらに深まったものと考えております。

なお、第6回青少年国際交流事業については、先に報告のとおりであります。

次に小中学生の本年度における部活動等の活躍について報告をさせていただきます。

まず、小学生における各少年団の全道大会への出場はなかったものの各地区大会において大いに活躍したところであります。

中学生においては、上富良野中学校陸上部15名が函館市での全道大会へ出場し新関涼介君が三千mで、全国大会参加標準記録を上回り優勝し、8月20日から23日に鳥取市で開催された第37回全日本中学校陸上競技選手権大会男子三千mの部に出場し、自己ベストを大幅に更新し6位に入賞する快挙を成し遂げました。また、9月5日に北海道ジュニア陸上競技選手権大会兼ジュニアオリンピック陸上競技大会北海道選手選考会3千mにおいて、谷口創大君が優勝し、10月22日から横浜市で開催されるジュニアオリンピック陸上競技大会への出場権を獲得するなど、中体連の各競技において優秀な成績を収めております。

また、上富良野中学校吹奏楽部が9月5日の北海道吹奏楽コンクールにおいて金賞を獲得するとともに、10月9日に東京都府中市で開催される東日本学校吹奏楽大会への4年連続の代表権も獲得しており、子どもたちの活躍に大きな声援を送るものであります。

（総務課行政報告【企画財政班関係】）

最後に、建設工事の発注状況についてであります。6月定例町議会で報告以降に入札執行した建設工事は、8月26日現在、件数で9件、事業費総額で1億4222万2500円で、本年度累計では16件、事業費総額3億2千762万1千円となっております。

詳細につきましては、お手元に、「平成22年度建設工事発注状況」を配付しておりますので、御高覧いただきたく存じます。